



東京日野プロバスクラブ
創立平成22年9月16日

プロバスだより

Positive Aging

2012～2013年度 会長・菊池昭雄 幹事・奥 修平

2012(平成24)年7月19日(木)・第20回例会 第2巻第01号

< 菊池昭雄会長テーマ >

自立の精神で、独自の奉仕活動を創造し取り組む
クラブ運営には、相互の理解を深め、協調を旨とする
例会は全会員が集う親睦の広場、参加の喜びを持ち、気楽に楽しく
他クラブとの交流で視野を広め、深化し続けるクラブを目指す

新・旧理事会報告

日 時 平成24年7月12日(木) 17時～
場 所 大政寿司



新年度を迎えるに当たり、新旧の役員・理事が一堂
に集まり引継と新年度事業計画について報告。

< 第20回例会 >

日 時 : 平成24年7月19日(木) 12:30～14:30
会 場 : 高幡不動尊 客殿2階
出席者 : 30名 出席率91.0% (会員総数34名)

開 会 例会委員会 中村代志子委員長

- ①本日は24年度第1回例会です。
第1回例会記念として昨年度より懸案でした馬場弘融日野市長に特別講演をお願い致しました。
- ②私の今年度テーマは次の各事項です。
 - ・自立の精神で、独自の奉仕活動を創造し取り組む
 - ・クラブ運営には、相互の理解を深め、協調を旨とする
 - ・例会は全会員が集う親睦の広場、参加の喜びを持ち、気楽に楽しく、他クラブとの交流で視野を広め、深化し続けるクラブを目指す
 以上のことをお含み頂き、今後の活動に生かして頂ければと思います。
- ③平成23年11月13日(日)に神戸で「全日本プロバス協議会総会」が開催されました。
- ④この1年間、皆さん方の考え方が生かされて、プロバスに入って良かったと思える活動をみんなで力を合わせてプロバスライフを楽しみたいと思います。

幹事報告

奥 修兵幹事

- ①多摩地区に現在3クラブ(東京八王子プロバスクラブ 東京多摩プロバスクラブ、東京日野プロバスクラブ)のプロバスクラブが活動を行っていますが、八王子PCから交流会について打合せ開催の連絡を頂きました。当クラブからは菊池会長、奥幹事が出席致します。

日 時 7月24日(火)
会 場 多摩市関戸公民館

委員会報告

- 例会委員会 中村代志子委員長
※6名の委員で役割分担をして1年間委員会活動をさせて頂きます。
- 情報委員会 小西 弘純委員長
※本日配布させて頂いた会報が、林前委員長を始めとする情報委員会が制作した資料です。
1年以上にわたりお疲れ様でした。
※会報制作はもとより新しい事業も考えております。委員会を開催してからご報告させて頂きます。
- 会員委員会 土方 尚功委員長
※本日、新会員大島会員、曹会員の名簿追加分を配布させて頂きました。
※新会員の推薦が届いております。例会終了後に委員会を開催したいと思います。
※情報委員会で「会員増強用の資料」を考えているようです。今後とも新会員の情報がありましたらよろしくお願い致します。
- 研修委員会 瀬川 爾朗委員長
※研修委員会の主な活動は以下の4つと考えます。
 1. プロバスの会員の中で技術的学問的特性をお持ちの方より知識を得て日常に生かす。
・渋谷会員の「中国事情について」
・信田会員「踊りのおもしろさについて」など
 2. 社会的に注目される施設に対してプロバスとして生かす研修を試みる。
 3. 国内旅行・ゴルフなど。
 4. 地域奉仕委員会の行事に協力する。

○地域奉仕委員会 渡辺 明委員長

※使用済み切手とペットボトルのキャップは毎月例会時に収集。その他、「夢ふうせん」へのボランティア活動、研修バス旅行、献血活動、多摩川・浅川クリーン作戦と親睦会、新選組まつり、光の家(今年9月正秋バンド開催)などを計画しております。地域奉仕委員会は独自では活動できない委員会です。皆様のご協力をお願い致します。

プロバスクラブ賛歌

閉 会 澤田研二副会長

今日から菊池体制の基でスタート致しました。第1回目は無事に終わることが出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。

<平成23年度臨時総会>



1. 開会の辞 司会 澤田 研二副会長
2. 会長挨拶 菊池 昭雄会長
※例会・会長挨拶に記載
3. 議長選出
※菊池昭雄会長をお願い致します。
○菊池昭雄会長
ご指名により本日の議長を務めさせていただきます。
4. 書記・議事録署名人選出
※議長一任
○菊池昭雄会長
書 記 泊谷時男会員
議事録署名人 榎本吉伸会員・小島康義会員
5. 議案
第1号議案・平成23年度事業報告並びに収支報告
※平成23年度総括報告 篠原 昭雄前会長
※平成23年度事業報告 澤田 研二前幹事
※平成23年度収支決算報告 佐藤郁夫前副幹事
※監査報告 中村 代志子監事
【第1号議案承認】
第2号議案・平成24年度事業計画並びに収支予算
※平成24年度事業計画(案)報告 奥 修兵幹事
※平成24年度収支予算(案)報告 矢野凱弓副幹事
【第2号議案承認】
6. その他 新撰組は「新選組」で統一。
7. 議長解任
8. 閉会の辞 澤田 研二副会長
皆様のご協力ありがとうございました。

※詳細は配付資料でご確認下さい。

特別講演

講師紹介 副会長 澤田 研二

クラブとしては、念願が叶いお忙しい中馬場日野市長において頂きました。

<馬場弘融様のプロフィール>

昭和19(1944)年12月17日生

昭和43年慶應義塾大学法学部政治学科卒業

日野市消防団に入団

日野市商工会理事

日野青年会議所理事長

昭和57年3月日野市議会議員当選・2期8年間

日野市議会議員を辞められた後も、各方面の要職に付かれてご活躍。

平成9年4月日野市長当選・現在4期目16年目

東京市長会会長を歴任

○テーマ『日野市の現状について』

日野市長 馬場 弘融様

この度は、日野プロバスクラブの例会へお招きいただき有難うございます。

仕事上、人前で話すということは、自分の考えていることや、やるべきことをまとめる必要があるということで、私自身の勉強にもなると思い参加させていただきました。

今日は、「日野市の現状」という題目で、お手もとの資料に沿ってお話しします。レジメの表紙は向島用水というきれいな川です。

元々日野市は多摩川と浅川の間位置しており、徳川時代以前からから田んぼを作ってきたのが街の始まりです。今でも川がたくさん残っており、全長にして115キロメートルもあって全国的にみても珍しく、東京都下では隣の府中市が比較的川が多いとされていますが、それでも日野市の半分ぐらいです。最近では下水道も整備され、川の水がきれいになってアユの遡上も見られるようになってきました。今後も日野市の財産として大切に守ってゆきたいものです。

本日の話のポイントの1番目にあげている、老舗企業の撤退についてですが、日野市では、東芝工場は2年ほど前に撤退し、いまでは更地になっておりますし、日野自動車は今後5年をめどに本社と研究棟を残して移転すると発表しました。

工場跡地は33万ヘクタールもあって、これからの日野市の根幹を揺るがすほどの問題となっております。先日、日野自動車の幹部の人たちと話し合いをもち「市としても頑張ってゆくので、雇用の場を是非確保してほしい。また跡地の利用に際しても住宅の切り売りや、マンションの建築等は避けていただきたい」と申し上げてきました。

雪印メグミルクも2年以内の全面撤退を表明しております。次に大手ではない中堅企業も移転を決めて



おります。坂西精機や環境管理センターなどです。

このような企業の撤退の流れは、経済全体のグローバル化の動きの中で、より効率的な地域への移転を志向していくということ。次に地域住民との軋轢が増えてきたことも要因のひとつと考えられます。

これらの動きは、法人税や固定資産税の減収となり、日野市の財政運営を圧迫してゆきます。また、それらの企業の下請け企業や周りのサービス業、飲食業等にも大きな影響をもたらし、産業・経済の空洞化が懸念されるところです。

これからの産業活性支援策の一環として、日野市工業振興条例を策定し、事業者・金融機関・大学・市民・行政・農協などが協力し合って話し合い、特に農業を主体に日野市ブランドの製品を開発し、発信して行ければと考えております。

次に厳しい財政状況についてですが、平成20年のリーマンショック以来税収が伸びなくなっております。景気が低迷すると支えを必要とする人が増えてきます。扶助費といいますが、税金で賄わざるを得なっており、これに高齢化による医療費の増大が追い打ちをかけている状況です。

日本全体で見ても状況は厳しく、このまま推移しますと、ギリシャやスペインと同様の情勢に陥ります。資料のグラフでおわかりのように日野市の場合でも税収は減っても予算規模は年々膨らんでいます。日野市の人口は、平成8年に16万人でしたが平成23年度には17.5万人と増えておりまして市税総額は280億前後で推移しております。一方、歳出は平成8年に454億円でしたが平成23年度には572億円と増大しております。歳出の状況ですが、人件費は減少しているものの、扶助費(生活保護・児童福祉・老人福祉等)は平成21年から急激に増大してきており、かなり心配をしております。

前の共産党系の森田市長から、24年ぶりで私に変わったとき、周りからは思い切って政策を転換しろと強く言われましたが、私は、方向性を示すことはいいが、急激な転換は混乱を招きかねないのでじわじわとやってきました。地元選出の民主党の長島議員にも再三このことを進言してきましたが、結局出来なくて、結果は他のことまで全部できない状況になって、いまの野田総理は大変苦勞しております。

現政権の動向が地方自治体の行政にも大きな影響を及ぼしております。マニフェストに謳っていた、後期高齢者医療制度を無くすことも子ども手当も、高速道路無料化も実現できず、来年の国民健康保険制度や後期高齢者医療制度も決まっています。ですから、国の省庁に来年度の予算要望を出しても決まっていないので出せないということになっております。是非とも野田政権には頑張ってもらいたいものだと思っております。

日野市は、来年市政50周年を迎えます。先程来、不安材料ばかりを述べてきましたが、私は悲観してはいません。なぜならば、日本人だからです。日本人は、幕末から明治にかけて、また、戦後の人たちがそうであったように、大変な時期を乗り越えて頑張ってきた。

ました。先般の東日本大震災でも、外国のメディアは、略奪が横行するであろうと報道しておりましたが、実際はお互いを支え合う国民性を持っております。国民がまた頑張る気概を取り戻せる政治をやらなければならないと思います。

来年市政50周年を迎えるに当たり、この厳しい状況から逃げるのではなく覚悟をもって前に進むことが重要であると考えます。利便性ばかりを追求するのではなく広域的な視点から、新しい文明を視野にいれて日野市の将来像を描いていきたいと思っております。3世代が交流する場を作ったり、歩ける範囲に仕事、レジャー、教育、介護の場を作っていく仕掛けこそが重要かと思っております。

最後になりますが、レジメの最後のイラストは、国の助成金を活用して電通に依頼して作成した、市のイメージキャラクターのエコクマとエコアラです。

これからは、自然とエコロジーが大切になっております。みなさまの引き続きのご協力をお願いします。

<卓話・記 大島委員>

【質疑①】

小林昭治会員 日野市内に住んでおられる高齢の方で色々な知識を持っている方が多くおられると思います。その方々を学校の中に入れて頂きたいと思っております。一つの学校に20人位の登録されたご高齢の方が全くのボランティアでいられる仕組みを考えて頂きたいと思っております。

馬場 弘融日野市長 基本的にはおっしゃる通りです。但し、学校の職員、先生は東京都の職員で、市からの要請で学校の中に入ると云うことは難しいところがあります。現在は「放課後学童クラブ」という学童クラブの民間版のようなもので、個々には地域の高齢者の方にお手伝い頂いております。時間はかかると思いますが、方向性としては、お話し頂いた事に向かっていると思っております。

【質疑②】

中村代志子会員 全国的にいじめの問題が多くありますが、日野市の学校の中でこの問題はどのようになっていますか。

馬場 弘融日野市長 日野市でもいじめの問題はあります。そして、なくなると云う事はないと思っておりますが、日野市教育委員会、各機関団体で連携を取って早くに対応して、大きな事にならないようにしています。

○謝辞

篠原昭雄前会長

プロバス創立当時からお越し頂いての講演の思いがありましたが、創立当時は海外に出張をされておりました。今回は大変お忙しいところお越しいただき、お話を頂きました。本日はありがとうございました。

※これから公務に戻られますので退席されます。

<今月の会報担当 小西委員>